

9月1日は防災の日

水災害に備えよう ～東海豪雨から15年～

平成12年9月11日から12日にかけて発生した東海豪雨

清須市にも甚大な被害をもたらしたあの大水害から

今年で15年が経ちます

当時の記憶を風化させないためにも、改めて水災害について考え、

万一来いましょう

備え 1 洪水のしくみを知ろう

洪水には、発生の仕方により「内水はん濫」と「外水はん濫」があります。

内水はん濫

猛烈な雨が降ると、側溝や下水道の排水能力が追いつかなかったり、河川の水位が上昇して排水できないことがあります。このように、地域に降った雨があふれた状態のことを「内水はん濫」といいます。

外水はん濫

大雨によって河川水位が高くなると、堤防を越えて水があふれたり(越水)、堤防が壊れたり(決壊、破堤)することがあります。これらが原因で生じるはん濫を「外水はん濫」といいます。

備え 2 日頃から心がけよう

いざという時のために、日頃から次のような事柄を心がけておきましょう。

天気予報や気象状況に気をつける

梅雨時や台風シーズンなどの時期には、テレビ等の天気予報に注意して、天気の移り変わりに気をつけましょう。

非常食や持ち出すものを準備しておく

非常食には、レトルト食品や缶詰など調理の手間がかからず、水をあまり使用しないものを選び、飲料水を含めて、3日以上(可能な限り1週間分程度)を用意するようにします。また、懐中電灯や携帯ラジオ、乾電池も忘れずに用意しておきましょう。

避難場所や避難経路を確保しておく

市が全戸配布している「地震防災ハザードマップ」や「水害対応ガイドブック」などを参考に、自宅や職場から最寄りの避難場所へ安全に向かうための避難経路を、普段から確認しておきましょう。

大雨や台風にあわせて家の周りを点検整備しておく

家の周りに吹き飛ばされそうなものはないか、雨戸や瓦等は痛んでいないか確認しておきましょう。また、家の前の排水溝が詰まったりしていないかなどの確認もしておきましょう。



備え **3** 避難についての考え方を見直そう

「避難とは、市町村が指定した避難所へ移動すること」という固定観念は、結果として「避難」を考える上での選択肢をせばめてしまう恐れがあります。

すでに河川はん濫などが発生している時は、避難所への移動がかえって危険をまねく場合があります。状況によって、建物の上階への移動やその場に留まるというような行動も有効なことがあります。特に、マンションの高層階に居住している場合など、浸水してからも安全に自宅滞在が可能な住居の場合は有効です。ただし、食料や水などを事前に備えておくことが必要となります。

【安全確保行動の4分類】

- 1 待 機** 自宅や安全を確保できる場所に留まり、危険が過ぎるのを待つことです。
- 2 垂 直 移 動** 屋内の2階以上の安全を確保できる高さに移動することです。
- 3 水平移動(一時的)** その場を立ち退いて、近隣の安全を確保できる場所(親戚・知人宅、職場など)に一時的に移動することです。
- 4 水平移動(長期的)** 居住地と異なる避難先などで一定期間、避難生活をおくることです。

◎ぜひ登録してください! 「あんしん・防災ねっと」

「あんしん・防災ねっと」とは、次の情報を携帯電話で確認できるサービスです。
メール配信にはアドレス登録が必要ですので、ぜひ登録してください。



メール配信登録

次のメールアドレスに空メール(タイトル、本文なし)を送っていただくと仮登録が出来ます。

kiyosu-address@anshin-bousai.net

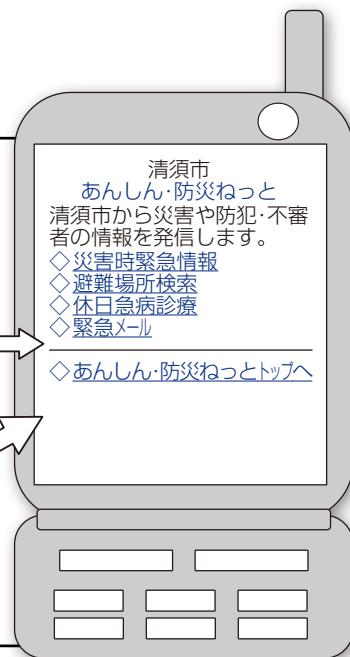
右記QRコードにアクセスしていただいても登録できます。
(緊急メール→登録・変更・解除→新規登録・登録内容の変更・解除)



検索情報

次のアドレスにアクセスしていただくか、QRコードにアクセスしていただくと検索できます。

<https://www.anshin-bousai.net/~kiyosu/index.html>



東海豪雨を語り継ぐ パネル展 「あのときから15年」

9月2日(水)から29日(火)までの期間、市立図書館において東海豪雨のパネル展を開催します。詳細は、13ページの市立図書館9月の行事予定をご覧ください。



■問合せ 防災行政課(本庁舎)